

## ◆ 長野県観光の目指す姿

### 世界水準の山岳高原観光地づくりの推進

- ↳ 県内の多様な観光地の特色が活かされ、観光産業の活性化や地域課題の解決が図られている
- ↳ 住む人も訪れる人も長野県を楽しんでいる

#### 目指す姿を実現するための財源確保策について、観光振興審議会における議論の結果は以下のとおり

- 長野県の観光にしっかりと付加価値をつけるためには安定的・持続的な財源確保が可能な「法定外税」が適切
- 地域が維持しているインフラ等を観光客も利用しているという観点で、相応分のコストを観光客が負担するのは妥当
- 「宿泊」は消費と行為の場所が近く、課税客体の捕捉性が高いことから徴収が容易であり、「短期の滞在者」として共に長野県を創るに当たり、負担を求める行為として適当であり、「宿泊」行為への課税を軸に検討

#### これらを踏まえ、県として、「宿泊」行為への課税について検討を開始

※検討に当たっては、以下の点に留意しながら進める。

- ・ 宿泊者、宿泊事業者や県民の十分な納得を得られるよう、丁寧な説明に努めること
- ・ 観光施策における市町村との役割分担や財源の配分方法等、制度の骨格を速やかに示し、市町村と調整を進めること

# 新たな税を活用して取り組む施策・役割分担及び今後の調整内容（案）

## 1 観光振興施策の方向性 ※観光振興財源検討部会報告書において整理されたもの

### ①長野県らしい観光コンテンツの充実

- ・ 様々なアクティビティの充実
- ・ 自然・文化資源の観光面での活用促進
- ・ 観光を通じた学びの支援
- ・ 新しいライフスタイルへの対応

### ②世界水準の受入環境整備

- ・ 観光分野のDX推進
- ・ 交通の利便性向上
- ・ インバウンド対応の強化
- ・ ユニバーサルツーリズムの推進
- ・ 環境に配慮した観光地作りなど観光地の質の向上

### ③更なる観光振興の体制強化

- ・ 世界水準の観光地を支える世界水準の観光地経営組織の構築
- ・ 観光人材の育成・確保

### ④県内市町村への支援

市町村において、新規又は拡充する①～③の取組を支援

## 2 観光振興施策における県と市町村の役割分担 ※観光振興財源検討 市町村WGにおいて整理したもの

### <県>

- ・ 広域的な観点からの観光振興施策の実施
- ・ 市町村に対する技術的・財政的支援
- ・ 県で実施することがより効率的な施策、緊急性の高い課題に対する施策

### <市町村>

- ・ 地域の観光地経営（地域観光ビジョンの共有）
- ・ 地域観光ビジョンを踏まえた受入・滞在環境整備
- ・ 観光資源の磨き上げ
- ・ 観光地域づくりを通じた事業者支援・連携促進

以上を踏まえ、税導入の効果が旅行者・観光客、宿泊事業者に可視化できるよう、市町村への配分割合や配分方法を検討。なお、配分方法は、一定の基準を設け交付する「交付金」や、特定のメニューにより事業を支援する「補助金」を想定。また、独自課税を検討する市町村との租税調整についても、配分の考え方を踏まえた検討が必要。

⇒ 今後も市長会、町村会等の会議で説明・意見交換しながら、次回以降の協議の場において、財源の配分方法をはじめとした県と市町村との調整が必要な事項について、方向性をまとめたい